# 福東ＯＢ会総会・２０周年記念式典挨拶

## 東朋会 理事長 高萩 富夫

福東ＯＢ会創立２０周年おめでとうございます。福島東洋通信機を退社された方々とこうして再びお会い出来ますことを大変うれしく思います。正に「光陰矢の如し」であり、２０年の歳月を経ての今があるわけですが、１２年前の未曾有（みぞう）の大震災を乗り越えてきた福島の方達の逞しい生き様には、頭の下がる思いであります。それゆえ互いを思いやる気持ちは、より一層強い絆となって福東ＯＢ会のバックボーンを揺るぎないものにしていると思うのであります。

高萩理事長挨拶

先日届きました「きびたき２０周年記念号」を拝見させていただきました。創立当時の役員さんの名前が書かれていました。鬼籍に入られた方も何名かおられました。

コロナ禍が落ち着きを見せ始め、やっと通常の生活に戻れるかとの安心感が漂い始めた矢先、ガソリンをはじめ生活必需品の相次ぐ値上げが懐を直撃しています。年金生活者にとって、益々無駄をなくす生活が求められていることを感じます。

創立１４年目の東朋会も８月から２０２３年度の予算事業がスタートしました。アフターコロナの中で、会員の親睦を深める活動をどのように進めていくか、が「カギ」であります。現在の会員数は３５３名、平均年齢は、７４．６歳となり、Ｚ世代の若者から見ればまさにＪＪ＆ＢＢ（ジイさんバアさん）の集団です。戦後の経済復興の中心的存在であった、いわゆる「団塊の世代」が、今は、後期高齢者となり、当会も高齢化の波が確実に押し寄せていることは歪めません。先日クラブハウスの女性トイレを１階のフロアーにも増設しました。お年寄りに寄り添った施設になれたことをうれしく思っています。

本会の主旨「人生、老後よければすべてよし」の原点に返って、会員の絆を繋ぐコミュニティをこれからも共に築いていこうではありませんか。

最後に、福東ＯＢ会の会員皆さんのご健勝とご活躍を祈念申し上げまして、お祝いの挨拶にかえさせていただきます。

# ２０周年記念式典

## 簇野裕子

ＯＢ会創立20周年記念式典を、昨年９月10日定期総会終了後、同会場において開催しました。

東朋会から高萩理事長、東北労働金庫保原支店から酒井支店長、こくみん共済ｃｏｏｐから陶支所長をお招きしご挨拶を頂き、皆さま方から心温まるお祝いの言葉を頂きました。今後の活動の励みとなる思いです。ＯＢ会を設立し今日まで支えて下さった先輩方に感謝すると共に、繋いで来れて安心した思いでもありました。

２０周年記念式典

その後、記念講演として伊達警察署生活安全課・大河内課長より伊達市内での詐欺被害に遭った実例から詐欺に遭わないよう、くれぐれも金銭の手渡し、暗証番号を教えたり、カードや通帳を誰かに渡す事がないように！と注意を受け、短い時間ではありましたが、中身の濃いお話を伺う事が出来ました。誰もが被害にあっても不思議ではない事を改めて実感した思いです。

これからはこのようなお話を聞ける機会を度々作っていけたらと考えます。

これまでの会員皆さんのご協力に感謝致します。ありがとうございました。

# 福東ＯＢ会総会報告

２０２３年度・記念すべき第２０回総会を９月10日（日曜日）伊達市保原中央交流館大会議室で開催しました。

福東ＯＢ会総会

福島・浜通り地区・相模から計30名の参加を頂きました。来賓として東朋会より高萩理事長にご参加頂きご挨拶を頂きました。

２０２２年度の活動報告，決算報告を担当者より、会計監査から監査結果を報告しました。そして、２０２３年度の活動計画（案）と予算（案）を提案説明して議論しました。

その結果皆さんから承認され新年度の活動を正式にスタート出来ました。

今回の重要なテーマの１つ、今後の活動資金調達について話し合いました。ご参加の皆さんから考え方や提案を頂き、役員より考え方や調達に向けた提案をしました。その結果、幹事会，集いの会で話し合い、東朋会のご協力を頂き進めて行く事としました。

会員の皆さん、集いの会や行事にご参加頂き今後の福東ＯＢ会の在り方や活動についてご意見や提案を頂ければ幸いです。

ご参加をお待ちしていますのでよろしくお願い申し上げます。